

< コミュニティ だより >

☆ おめでとう、ディダン先生 ☆

— バヤニンフィリピン人賞を受賞 —

授賞式は4月25日にテレビ放映されました。アトモロックで教えている姿がビデオで流れたそうで、テレビカメラが入ってアトモロックは大騒ぎだった事でしょう。

この賞は「フィリピンの現代の英雄」と称えられ、1995年に始まり、教育、地域社会発展、環境保護のため、地道に努力して社会に貢献しているフィリピン人に与えられる賞です。ディダンは個人部門で1位になりました。

ディダンはピラーン民族ではありませんが、CMB教師歴10年で、アトモロックには8年前に来ました。教師としてだけでなく住民の相談相手として、長老とともに土地問題、武力衝突その他の難局に対処してきました。今も6年生担任として、また、識字教育や薬草栽培指導に多忙な毎日です。

☆ ブラクールでアグロフォレストリー事業 ☆

— HANDS 植林基金を活かして —

会設立当初の2年間は、CMB責任者ノイ神父が環境保全に積極的だったこともあり、サムラングやアトモロックで小規模植林を実施しましたが、その後CMBディレクターが頻繁に交代して、長期的の展望が必要な植林を見合わせてきました。

FOTの事業引継ぎに伴い植林事業の経験が豊富なPFPが協力組織に加わって、ようやく会の植林基金を活かす機会が訪れました。これまで、会員の篠原さんや、もとハンセン病患者のMK氏のご協力で積み立ててきた植林基金を、ブラクールの急傾斜地におけるアグロフォレストリーに充当することになりました。ブラクールではすでに学校運営自主財源用に、共有地でアバカ、果樹、マホガニーの植林など実施しています。今回は住民に苗木や肥料を提供し果樹の収穫後の返済金で、順次受益者を増やしながら緑化を進める方式です。すでに苗木購入が始まりました。

☆ FRN 助成プロジェクト現況報告 (3地域の女性グループ対象) ☆

- * レイクセブ：25歳から42歳までのチボリ民族の女性10名（ティナラク織り2名、その他の手織り2名、ビーズ細工と刺しゅう3名、縫製3名）のうち、すでに3名が借り入れた2500ペソ（約6,000円）で材料を購入し、できた製品を属する組合COWHEDに納入、ローン返済金を差し引いた金額を受け取りました。
- * アトモロック母親クラブの豚飼育・野菜栽培事業及びモロ女性グループの指圧クリニック開設事業も順調に準備が進んでいます。次号で成果を含めた現況報告をさせていただく予定です。

* * * * *

FRN（ファイバーリサイクルネットワーク）：古着や古布の回収とリサイクルを回収業者と協力して実施している横浜市の団体。設立は1992年。15の地区連絡会があります。主なりサイクル活動は①リサイクルきものフェアでの再利用の提案と販売②再生品（拭き布、軍手、エコバッグ）生産販売などの収益で海外支援を実施しています。

< イベント 報告 >

☆ エコロジー・フェスティバル「アースガーデン」に出展 ☆

7月12・13日に、渋谷で行なわれた「アースガーデン」に参加しました。これは、数年前から始まったエコロジーを意識したイベントで、今の社会問題である「自然・環境破壊」「大量消費・生産」をやめ、「ゆっくりオーガニックで手作りのものと豊かに生きよう」と提案しています。NGOや福祉グループ、有機野菜のお店やフリーマーケットまで、さまざまな分野の人たちが一堂に会したものです。

場所のせいかな（？）いつも参加しているイベントとは客層も違い、残念ながら今回はあまり売れませんでした。NGOの活動にあまり興味もないようでした…。それを「そういう人たちにアピールする絶好のチャンスだ！」と思うか、「消費するだけだからやめよう…」と思うか、悩みどころです。

あいにく天気が安定せず、春の時より来る人が少なかったようですが、新しいところでは必ず新しい出会いがあるので、いろんな取り組みをしている団体を知ることができて楽しめました。また、私たちの扱っているティナラク織は、天然草木染で、製作工程すべてが自然と共存しているものなので、こういう機会に恵まれたことは今後何かの形で活かしていけるのではと思いました。みなさんも、次のイベント（秋の国際協力フェスティバル等）にはぜひいらしてくださいね！（文責：森田奈美）